

2023年度（令和5年度）広島市立大学卒業式学長告辞

学部卒業生、大学院修了生の皆さん、本日はご卒業、ご修了、まことにおめでとうございます。これまで卒業生・修了生を励まし支えてこられましたご家族の皆様、関係者の皆様にも大学を代表してお慶びを申し上げます。

本日の卒業式を迎え、本学に入学してからきょうまでの出来事を思い返す卒業生・修了生も多いと思います。皆さんが本学に入学してから、国の内外ではいろいろな出来事がありました。その中でも最も大きな出来事はやはり新型コロナウイルス感染症のパンデミックでしょう。学部卒業生の多くが入学した2020年4月はまさに日本国内における新型コロナ・パンデミックが始まったばかりであり、社会は騒然としていました。本学においても、4月の入学式はやむを得ず中止せざるを得なくなり、授業開始も5月連休明けまで延期となりました。授業開始後もオンライン授業が続きました。その後の3年間、世界は新型コロナによって大きな影響を受けました。2020年夏に開催が予定されていましたが東京オリンピックは2021年夏に開催延期となりました。昨年になってやっと感染流行は落ち着きはじめ、5月には新型コロナの感染症法上の扱いが5類に変更され、今、社会はコロナ禍前に戻りつつあります。

新型コロナ以外にも大きな出来事はいくつもありました。海外においては、ほぼ2年前の2022年2月末にロシアによるウクライナ侵攻が始まり、戦争の惨禍は今なお続き、収束の見通しもまったく立っていません。さらに昨年10月には中東においてハマスとイスラエルの武力衝突が発生し、ガザ地区において深刻な人道危機を招いています。国内においても、本年1月に能登半島地震が起き、大きな被害が出ました。

もう一つ、最近、世界に大きな衝撃を与えたこととして、AIすなわち人工知能の驚異的な発展と爆発的な普及があります。ChatGPTに代表される生成

AIを使えば、人間が作成したものと判別できないような文章をコンピュータが作成しますし、人間が作成したものと見まがうような絵画の生成も可能となりました。さらには、生成AIを使ったフェイクニュースやフェイク画像もインターネットに溢れるようになりました。

このように多くの学部卒業生が本学で過ごした2020年4月からの4年間に限っても、過去の事例からは予測し難い出来事が国の内外で起きました。皆さんはVUCAという言葉をご存じでしょうか。V、U、C、Aと書いてVUCA（ブーカ）。これはVolatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字から作られた造語で、未来の予測が著しく困難になっている状況を意味します。ビジネスなどにおける業界用語として以前から使われている言葉ですが、世界はこれからもさらに複雑化すると共に不安定さも増し、ますますVUCAの時代となると予測されています。

それでは、本日、本学を卒業・修了した皆さんは、生成AIとVUCAの時代をどのように生きていくべきなのか。私から皆さんに3つのアドバイスを贈りたいと思います。

1つ目は、「自分の頭で考える、判断する」ということです。これから社会人になり、あるいは大学院に進学すれば、これまで以上にいろいろな判断を求められることが多くなります。不確実性に溢れるVUCAの時代においては、正しい判断を行うことが難しい場面が多くなることは間違いありません。何かの課題に直面したとき、インターネットが普及した現代においては、とりあえずはネット検索し、よく似た事例を探ることが一般的です。さらにChatGPTに代表される生成AIに質問を投げかければ、何らかの答えが瞬く間に返ってきます。しかしながら、過去の事例をそのまま引用し、あるいは根拠も不明な生成AIの回答をそのまま自分の判断にしたとすれば、その人の存在価値はどこにあることになるのでしょうか。もちろん、正しい答えを得ること

は難しいことも多いでしょう。インターネットを活用し、生成 AI の回答を参考にするにしても、最後は自分の頭で考えて、自分が納得する解を見つけようと努力することが重要です。それが人としての成長にもつながりますし、この社会を人にとってよりよいものにする原動力にもなります。是非、「自分の頭で考える、判断する」ことを心がけて下さい。

2つ目は、「学び続ける」ということです。皆さんが本学で学んだ知識や技能は、大変、残念ながら、いつかは陳腐化する可能性が高いと言わざるを得ません。本学で学んだことに限りがあることも確かです。ですから自分の専門とする分野については、卒業・修了後も継続的に学び続け、自分の知識・技能を常に向上させていくことが重要です。

その上で、さらに「学び」についてはもう一つ申し上げたいことがあります。ChatGPT に代表される生成 AI がこれからも進化し続けると予測される中、コンピュータでは実現困難な洞察力、創造性、そして倫理性がこれからの人間にはより一層求められます。そして、そうした能力は人文科学、社会科学、自然科学、そして芸術を横断する総合的な「知」を身に付けることによって養われます。すなわち、生成 AI の時代にこそ幅広い教養を身に付けることが重要です。是非、自分の専門とする分野に加えて、そうした幅広い「知」を身に付けるように日頃から努力して下さい。大変と思うかもしれませんが、本学で皆さんが身に付けた「学びの方法」はきっと皆さんの「学び」を助けてくれると私は信じています

3つ目のアドバイスは、「社会における自分の役割を考える」ということです。主体的に物事を判断し、また、学び続けることは重要ですが、それだけで人生を豊かにすることは難しいでしょう。不確実性が増す時代においてこそ、生きていく上での指標、あるいは人が生きる意義や目的が重要となってきます。古代ギリシャの哲学者アリストテレスは「人間は社会的動物である」と指摘しました。この意味は、人間は社会において生きているのであって、社会な

くして人間は存在しない、ということです。であるならば、人が豊かな人生を送ろうとすれば、社会との関係性を深めていき、自分が誰かの役に立っている、という感覚を持つことはとても大切です。誰しも自分の幸せは大きな関心事ですが、自分だけの幸せを追い求めても、それが他の人の幸せにつながらない限り、その人が社会に生きる意義を見出すことは難しいと思います。

以上が生成 AI と VUCA の時代に旅立つ皆さんへの私のアドバイスです。皆さんのこれからの人生に少しでも役立てば幸いです。

さらに、2020年4月に入学され、本日、卒業式を迎えた学部卒業生の皆さんに対し、もう一言、加えます。皆さんの本学での学生生活は、振り返れば新型コロナのパンデミックの発生と共に始まり、その終息と共に終わった4年間でもありました。入学までに思い描いていた学生生活とは違ったものとなってしまったと思っている人もいるでしょう。新型コロナ禍を起因とする多くの困難や試練を体験した人も多いでしょう。きょう、皆さんは新型コロナ禍を乗り越えて、無事、卒業式を迎えられました。そのような皆さんに対し、学長として深い敬意を表します。2020年4月入学の学部卒業生、そして本日、卒業、修了を迎えたすべての卒業生、修了生の皆さんの本学における新型コロナ禍を乗り越えた体験がこれからの人生の糧になることを切に願います。

最後になりますが、ご家族、友人、そして本学教職員と共に、卒業生の皆さんの卒業・修了と、新たな門出を心から祝福します。皆さんのこれからの健康と幸運、ご活躍を心より祈ります。

本日は、ご卒業、ご修了、まことにおめでとうございます。

2024年（令和6年）3月22日
公立大学法人広島市立大学 理事長・学長 若林 真一